



# カードローンの在籍確認に関する アンケート調査結果レポート

～ 利用経験者 100 名が回答した在籍確認の実態 ～

調査実施期間	2026 年 4 月 23 日
調査対象	カードローン利用経験のある 20～60 代の男女
有効回答数	100 名
調査方法	クラウドソーシング(クラウドワークス)経由のインターネット調査
調査主体	SOICO 株式会社 編集部

発行: SOICO 株式会社

<https://www.soico.jp/>

## 調査サマリー

本調査は、カードローンの在籍確認に対する利用者の不安や実態を明らかにするため、2026年4月にカードローン利用経験者100名を対象に実施しました。以下は主要な調査結果のサマリーです。

<b>66.3%</b> 電話連絡なしで在籍確認が完了	<b>47.0%</b> 職場への電話が最大の不安と回答	<b>87.9%</b> 電話があっても職場にバレなかった	<b>2倍</b> 対策の有無で電話連絡率が変化
--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------

## 主な調査結果

### 1. 電話連絡の実態

在籍確認において、電話連絡なしで完了したケースは66.3%。書類提出のみでの完了が38.0%、在籍確認自体がなかったケースも18.0%存在。

### 2. 利用者の最大の不安

申込時の不安として最も多かったのは「職場への電話」で47.0%。審査通過(19.0%)や家族への郵送物(14.0%)を大きく上回った。

### 3. 会社別の電話なし率

大手5社の電話なし率はプロミス75.0%、アコム71.9%、アイフル71.4%、SMBCモビット70.0%、レイク62.5%。

### 4. 事前対策の効果

何も対策しなかった利用者の電話なし率は38.9%に対し、書類を事前準備した利用者は88.5%。対策の有無で2倍以上の差。

### 5. バレなかった率

電話連絡が発生したケースでも、職場で気づかれなかった利用者は87.9%。カードローン各社のプライバシー配慮が機能している実態が確認できた。

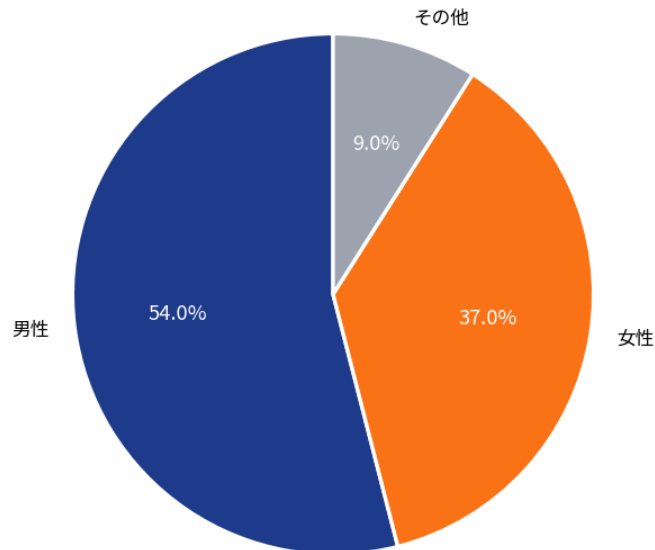
## 目次

- 01 Q1. 回答者属性(性別・年齢)
  - 02 Q2. 利用カードローン会社
  - 03 Q3. カードローンを選んだ決め手
  - 04 Q4. 申込時に最も不安に感じたこと
  - 05 Q5. 申込時の雇用形態
  - 06 Q6. 在籍確認の実施方法
  - 07 会社別:電話連絡なし率
  - 08 Q7-Q9. 電話連絡の流れ・対応・時間帯
  - 09 Q10. 職場の誰かに気づかれたか
  - 10 Q11. 提出した書類
  - 11 Q12. 事前対策(クロス集計)
  - 12 調査結果の考察とまとめ
  - 13 調査概要・引用ポリシー
  - 14 執筆者情報・お問い合わせ
-

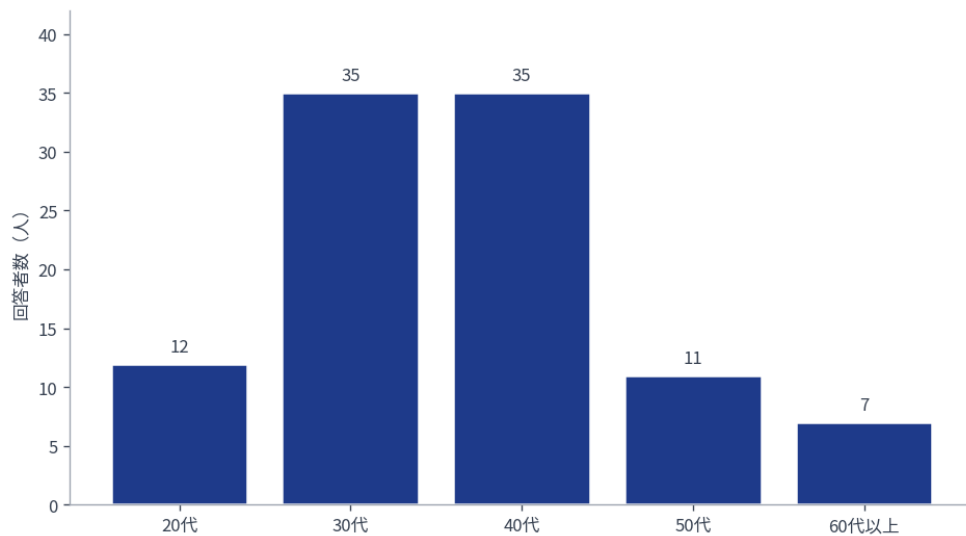
## Q1. 回答者属性(性別・年齢)

カードローン利用経験のある100名に回答していただきました。男性が54名で過半数を占め、年齢層は30代・40代が中心となっています。

### ■ 性別の内訳



### ■ 年齢層の内訳



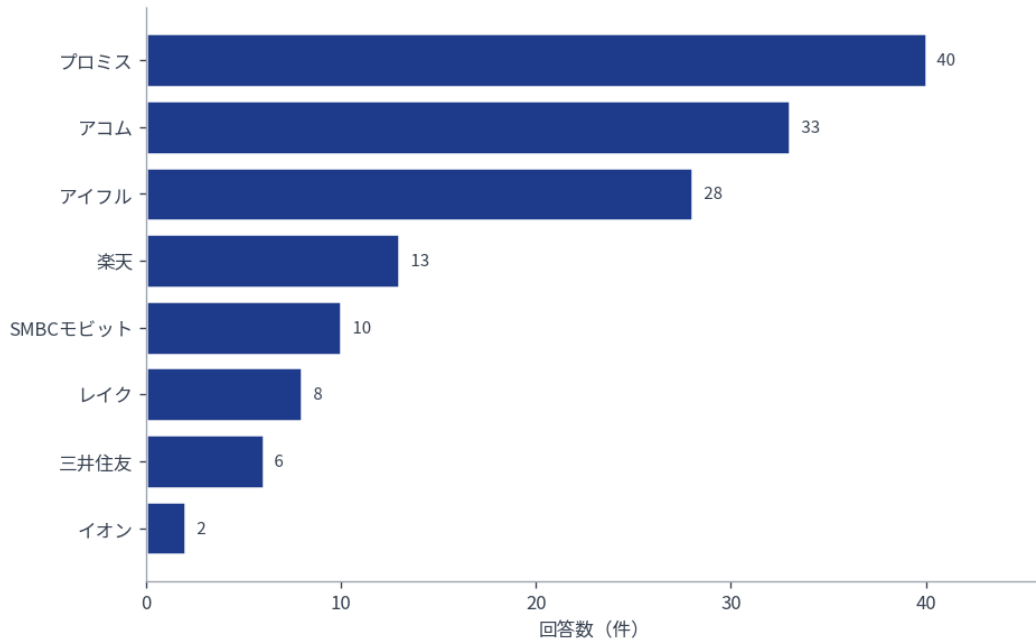
### ■ 集計データ

性別	回答数	割合
男性	54	54.0%
女性	37	37.0%
その他・不明	9	9.0%

年代	回答数	割合
20代	12	12.0%
30代	35	35.0%
40代	35	35.0%
50代	11	11.0%
60代以上	7	7.0%

## Q2. 利用したことがあるカードローン会社

回答者が利用したことがあるカードローン会社を複数回答で集計しました。プロミス(40名)、アコム(33名)、アイフル(28名)と大手消費者金融が上位を占める結果となりました。



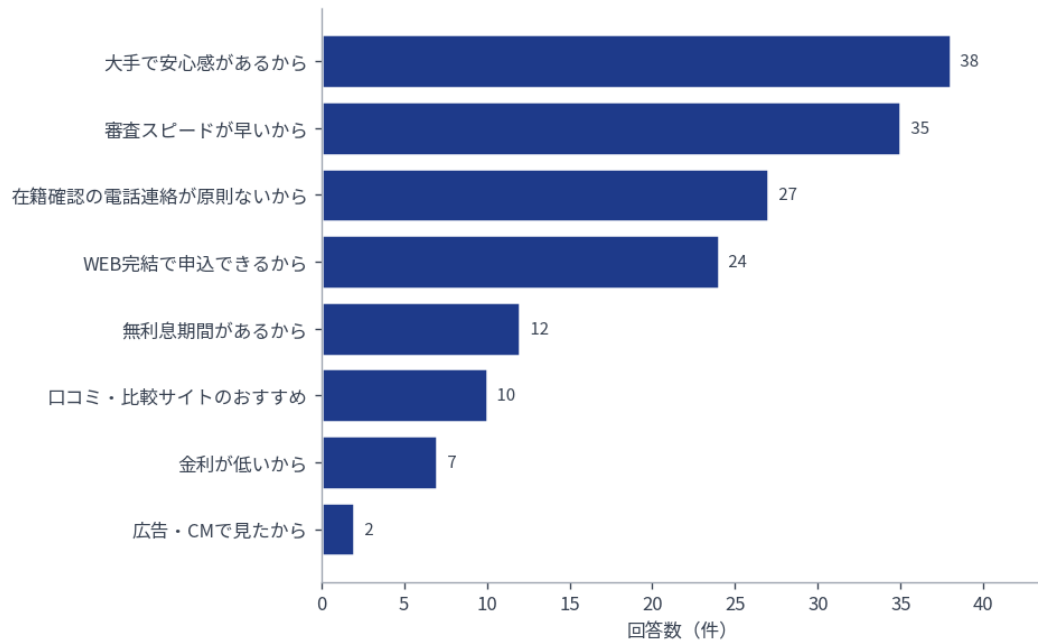
### ■ 集計データ(上位8社)

会社名	回答数	割合
プロミス	40	40.0%
アコム	33	33.0%
アイフル	28	28.0%
楽天銀行スーパーローン	13	13.0%
SMBC モビット	10	10.0%
レイク	8	8.0%
三井住友銀行カードローン	6	6.0%
イオン銀行カードローン	2	2.0%

※複数回答のため合計は100%を超えます

### Q3. そのカードローンを選んだ決め手

カードローンを選ぶ際に重視したポイントについて、自由回答を分類・集計しました。「大手で安心感がある」「審査スピードが早い」が上位を占める一方、27.0%が「在籍確認の電話連絡が原則ない」ことを選定理由に挙げており、プライバシーへの配慮がカードローン選択時の重要な判断軸となっていることが分かります。



#### ■ 集計データ

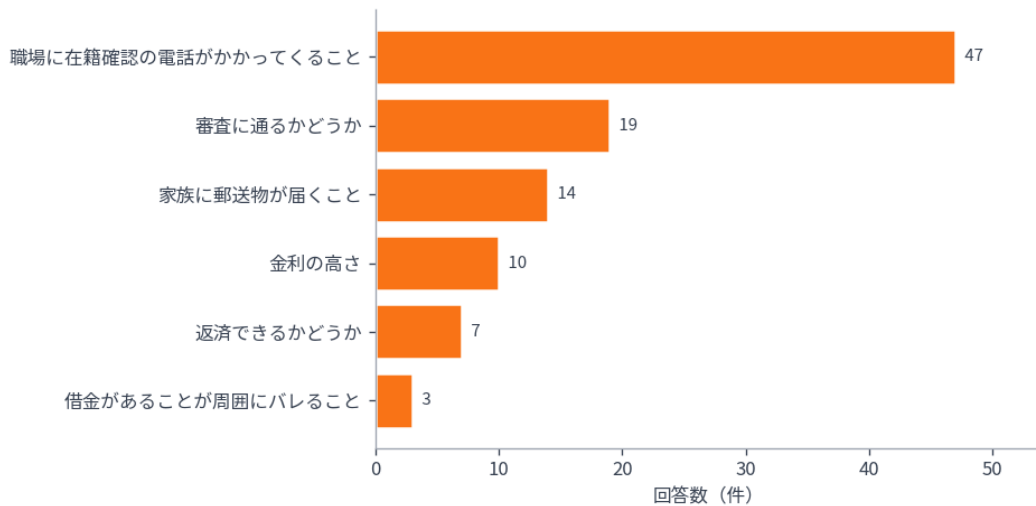
選定理由	回答数	割合
大手で安心感があるから	38	38.0%
審査スピードが早いから	35	35.0%
在籍確認の電話連絡が原則ないから	27	27.0%
WEB 完結で申込できるから	24	24.0%
無利息期間があるから	12	12.0%
口コミ・比較サイトのおすすめ	10	10.0%
金利が低いから	7	7.0%
広告・CM で見たから	6	6.0%

※複数の理由を挙げた回答も含むため、合計は 100%を超えます

## Q4. 申込時に最も不安に感じたこと

カードローン申込時に最も不安に感じたことを単一回答で質問しました。「職場に在籍確認の電話がかかってくること」が47.0%と圧倒的1位となり、「審査に通るかどうか」(19.0%)、「家族に郵送物が届くこと」(14.0%)を大きく上回りました。

【考察】カードローン利用者にとって、金利や返済負担よりも「周囲に借入がバレること」への不安が最大の心理的障壁となっていることが明らかになりました。特に職場での在籍確認電話への不安が突出しており、カードローン各社が提供する「原則電話連絡なし」のサービスは、利用者の不安解消に直結する重要な施策といえます。

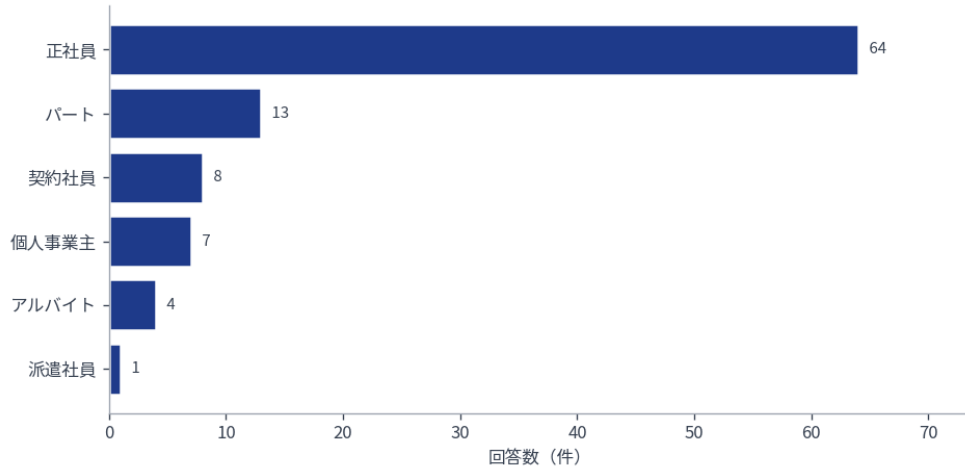


### ■ 集計データ

不安内容	回答数	割合
職場に在籍確認の電話がかかってくること	47	47.0%
審査に通るかどうか	19	19.0%
家族に郵送物が届くこと	14	14.0%
金利の高さ	10	10.0%
返済できるかどうか	7	7.0%
借金があることが周囲にバレること	3	3.0%

## Q5. 申込時の雇用形態

申込時の雇用形態について集計しました。正社員が64名と過半数を占めるものの、パート(13名)、契約社員(8名)、個人事業主・フリーランス(7名)、アルバイト(4名)など、多様な働き方の回答者がカードローンを利用していることが確認できます。



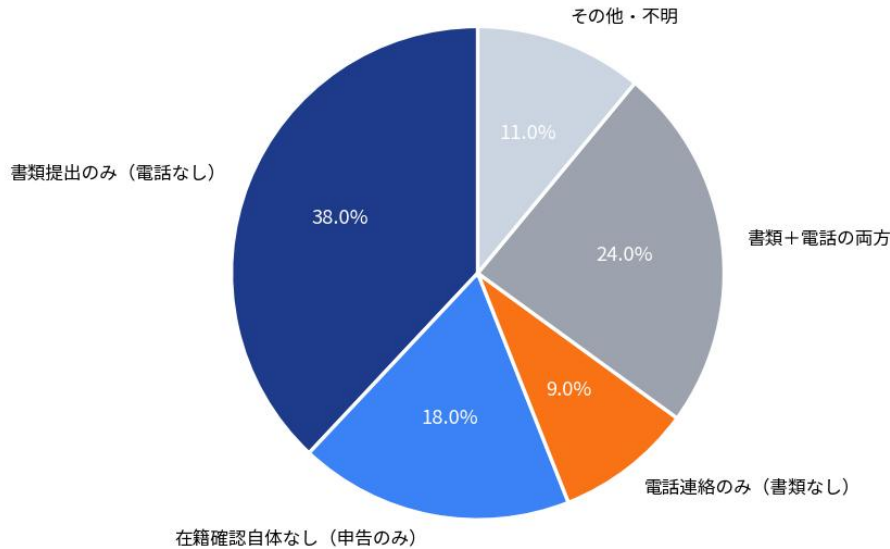
### ■ 集計データ

雇用形態	回答数	割合
正社員	64	64.0%
パート	13	13.0%
契約社員	8	8.0%
個人事業主・フリーランス	7	7.0%
アルバイト	4	4.0%
派遣社員	1	1.0%

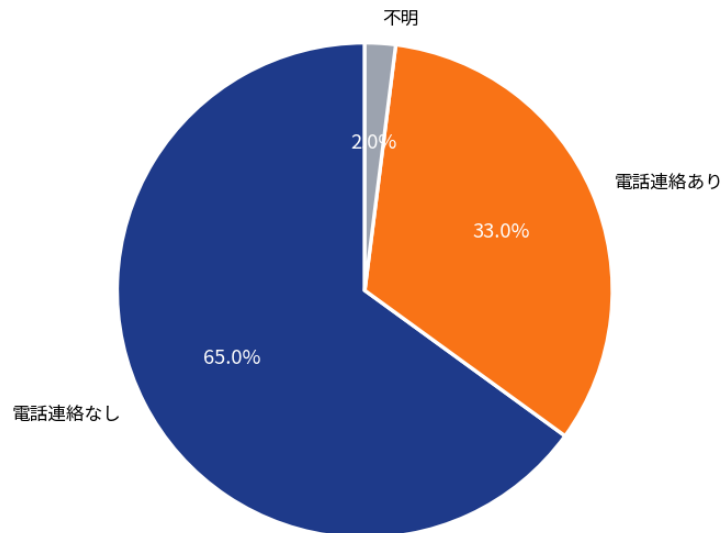
## Q6. 在籍確認はどのように行われたか

実際に在籍確認がどのように行われたかを自由回答で質問し、内容を分類しました。書類提出のみで完了したケースが 38.0%、在籍確認自体がなかったケースが 18.0%で、合計 56.0%が電話連絡なしで手続きを完了しています。

### ■ 在籍確認の実施方法の内訳



### ■ 電話連絡の有無(全体)



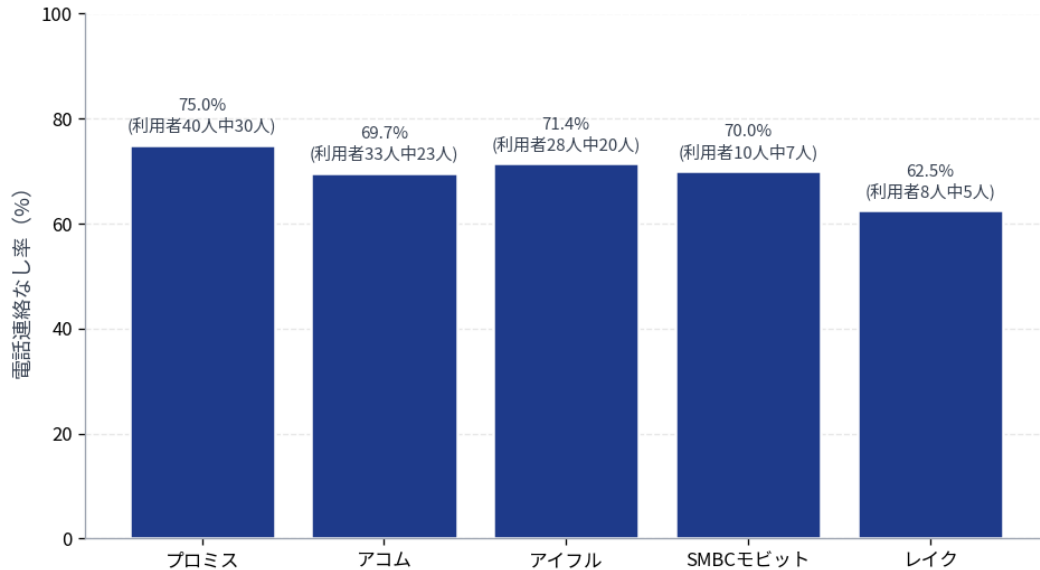
### ■ 集計データ

実施方法	回答数	割合
書類提出のみ(電話連絡なし)	38	38.0%
書類+電話の両方	24	24.0%
在籍確認自体なし(申告のみで完了)	18	18.0%

実施方法	回答数	割合
電話連絡のみ(書類なし)	9	9.0%
その他・不明	11	11.0%

## 会社別：電話連絡なし率

大手消費者金融 5 社について、それぞれの利用経験者における電話連絡なし率を集計しました。プロミス利用者の 75.0%、アコム利用者の 71.9%、アイフル利用者の 71.4%、SMBC モビット利用者の 70.0%、レイク利用者の 62.5%が電話連絡なしで在籍確認を完了しています。



### ■ 集計データ

会社名	利用経験者数	電話なし	電話あり	電話なし率
プロミス	40 人	30 人	10 人	75.0%
アコム	33 人	23 人	9 人	71.9%
アイフル	28 人	20 人	8 人	71.4%
SMBC モビット	10 人	7 人	3 人	70.0%
レイク	8 人	5 人	3 人	62.5%

※「不明」と回答した回答者は除外して集計しています

## Q7-Q9. 電話連絡の流れ・対応・時間帯

電話連絡があった回答者(33名)を対象に、電話の流れ・オペレーターの対応・時間帯について詳細を調査しました。

### Q8. オペレーター対応の特徴

対応パターン	回答数
個人名のみで名乗り、社名を一切出さなかった	10
丁寧・好印象だった	4
会社名を名乗った	3
事務的・普通	1

※電話連絡があった33名のうち、自由回答を分類できた事例のみを集計

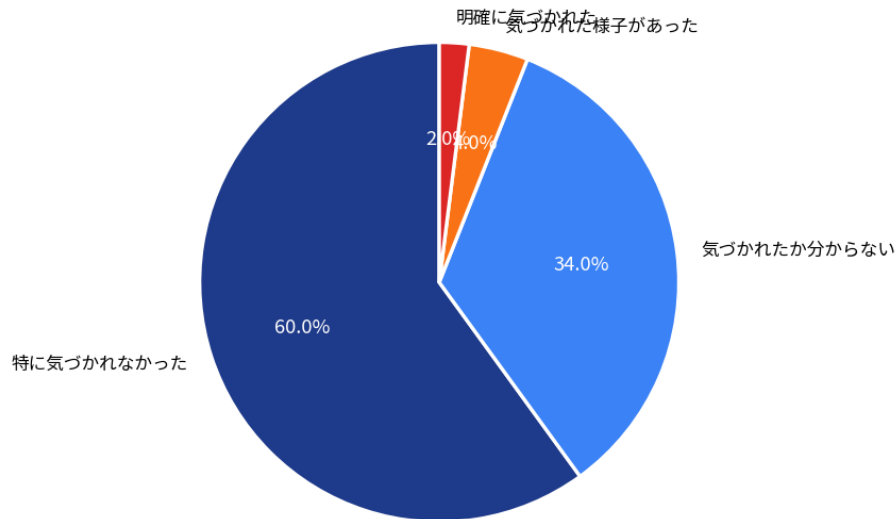
### Q9. 電話連絡の時間帯

時間帯の対応	回答数
自分で希望時間帯を指定できた	7
時間帯の希望は聞かれなかった	5
希望とは異なる時間帯にかかってきた	4
業務時間内(平日昼間)に連絡があった	3

【考察】オペレーターが個人名のみで名乗るケースが最も多く、カードローン各社がプライバシーに配慮した運用をしていることが確認できました。また、時間帯指定が可能なケースも多く、利用者の状況に応じた柔軟な対応が提供されています。

## Q10. 職場の誰かに気づかれたか

カードローンの利用が職場の誰かに気づかれたかについて質問しました(全回答者対象)。電話連絡があった33名のうち、「特に気づかれなかった」と回答したのは54.5%、「気づかれたか分からない」が33.3%で、合計87.9%が職場での認知を避けられていました。



### ■ 集計データ(全回答者 100名)

結果	回答数	割合
特に気づかれなかった	60	60.0%
気づかれたか分からない	34	34.0%
気づかれた様子があった	4	4.0%
明確に気づかれた	2	2.0%

### ■ 集計データ(電話連絡があった33名のみ)

結果	回答数	割合
特に気づかれなかった	18	54.5%
気づかれたか分からない	11	33.3%
気づかれた様子があった	3	9.1%
明確に気づかれた	1	3.0%

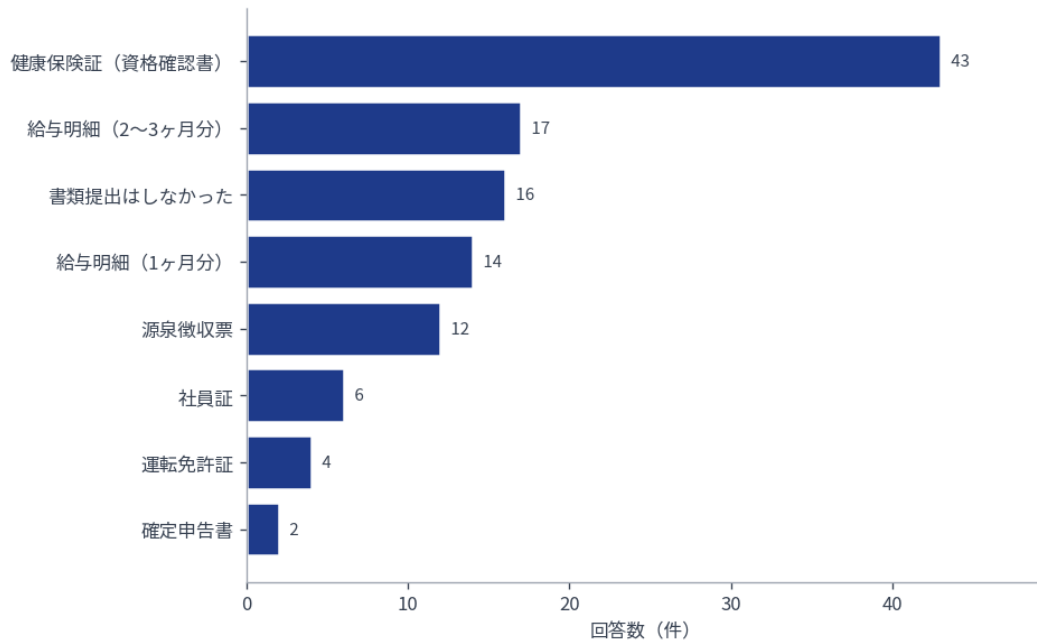
#### 【バレた事例の共通パターン(6事例)】

明確に気づかれた・気づかれた様子があった6名を分析した結果、5名が1~50人規模の小規模職場で勤務していました。小規模な職場では電話取次ぎが目立ちやすく、バレやすさが高まる傾向が確認できました。



## Q11. 書類で在籍確認を行った際に提出した書類

書類提出による在籍確認について、実際に提出された書類を複数回答で集計しました。健康保険証(資格確認書)が43件と最多、次いで給与明細(1~3ヶ月分合計30件)、源泉徴収票(12件)となっています。一般的に案内されることの多い「社員証」は6件と少数派で、健康保険証や給与明細のほうが実務的に使われていることが分かりました。



### ■ 集計データ

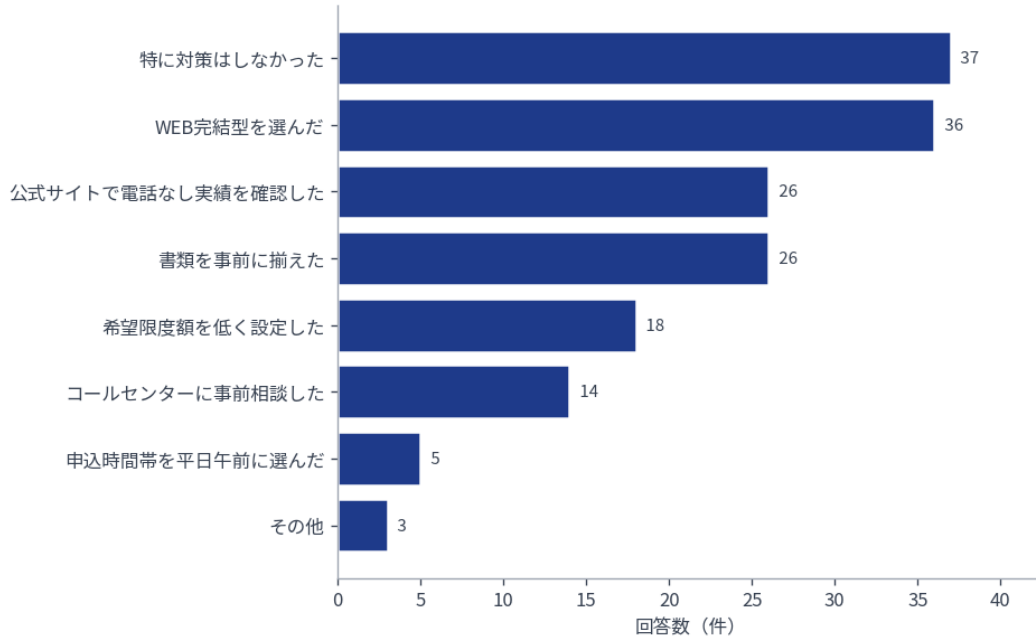
提出書類	回答数
健康保険証(資格確認書)	43
給与明細(2~3ヶ月分)	16
書類提出はしなかった	16
給与明細(1ヶ月分)	14
源泉徴収票	12
社員証	6
運転免許証	4
確定申告書	2

※複数回答のため、合計は回答者数を超えます

## Q12. 電話連絡を避けるための事前対策

在籍確認の電話連絡を避けるために、申込前に行った対策を複数回答で質問しました。「特に対策はしなかった」が37件と最多で、次いで「WEB完結型を選んだ」36件、「公式サイトで電話なし実績を確認した」26件、「書類を事前に揃えた」26件と続きます。

### ■ 事前対策の回答分布



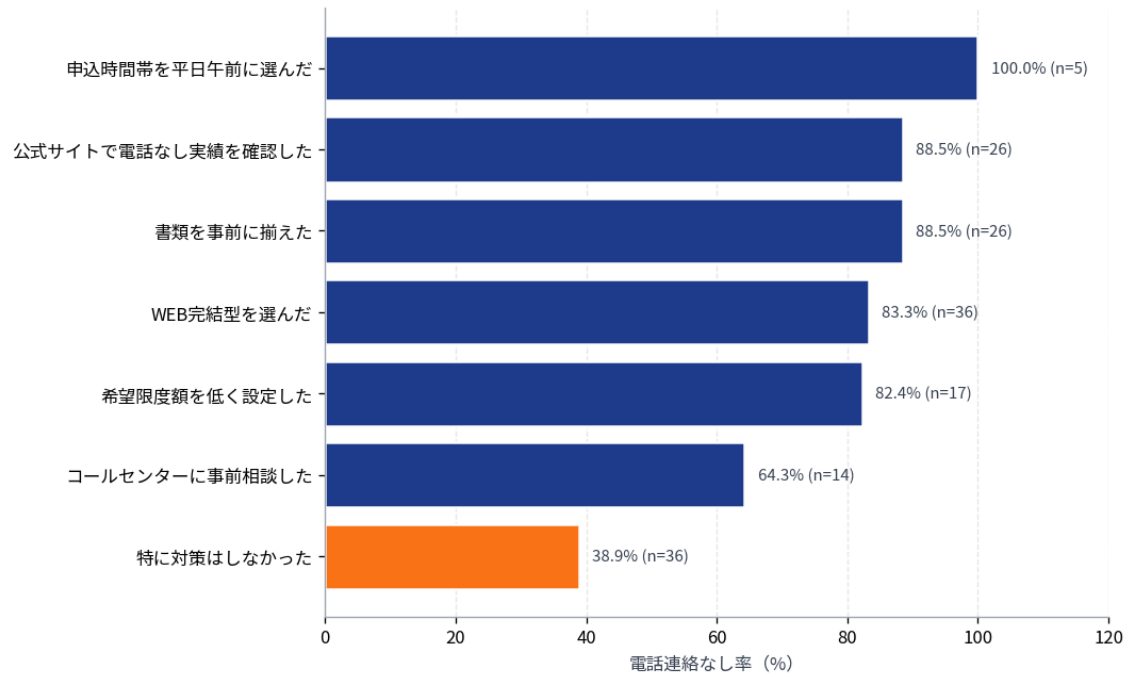
### ■ 集計データ

事前対策	回答数	割合
特に対策はしなかった	37	37.0%
WEB完結型を選んだ	36	36.0%
公式サイトで電話なし実績を確認した	26	26.0%
書類を事前に揃えた	26	26.0%
希望限度額を低く設定した	18	18.0%
コールセンターに事前相談した	14	14.0%
申込時間帯を平日午前を選んだ	5	5.0%
その他	3	3.0%

※複数回答のため、合計は100%を超えます

## Q12. 事前対策別の電話連絡なし率(クロス集計)

事前対策の有無が電話連絡なし率にどう影響するかをクロス集計しました。何も対策しなかった回答者の電話なし率は 38.9%だった一方、事前対策を行った回答者の電話なし率は平均 83~88%に達し、事前対策の有無で電話連絡を受ける確率が 2 倍以上変わることが明らかになりました。



### ■ クロス集計データ

事前対策	該当者数	電話なし率
申込時間帯を平日午前を選んだ	5 人	100.0%
公式サイトで電話なし実績を確認した	26 人	88.5%
書類を事前に揃えた	26 人	88.5%
WEB 完結型を選んだ	36 人	83.3%
希望限度額を低く設定した	17 人	82.4%
コールセンターに事前相談した	14 人	64.3%
特に対策はしなかった	36 人	38.9%

※該当者数は、電話連絡の有無が判定できた回答者のみを集計。「平日午前」は参考値(サンプル数が少ないため統計的有意性は限定的)

**【重要な発見】**事前対策を行うことで、電話連絡を受ける確率を大幅に下げられる可能性があります。特に「書類の事前準備」「公式サイトでの電話なし実績の確認」「WEB 完結型の選択」は高い効果が確認されました。一方、コールセンターへの事前相談は相対的に効果が低く、「電話連絡のリスクが高い条件で申込み人ほど相談する」傾向がある可能性が示唆されます。



## 調査結果の考察とまとめ

### 1. 利用者の不安の核心は「職場への電話」

カードローン申込時の最大の不安は、金利や返済負担ではなく「職場への電話連絡による周囲への露見」であることが明確になりました(47.0%)。これは、カードローンを検討する多くの利用者が「借入そのもの」ではなく「借入が他者に知られること」を恐れていることを示しています。

### 2. 現実には 66.3%が電話連絡なしで完了

一方で、実際にカードローンを利用した回答者のうち 66.3%は電話連絡なしで在籍確認を完了しています。カードローン各社が提供する書類提出による代替手段や WEB 完結申込の仕組みが、利用者の不安を解消する実効性を持っていることが確認できました。

### 3. 事前対策で電話連絡なし率は 2 倍以上に

事前対策の有無によって電話連絡なし率が大きく異なることが判明しました。何も対策をしなかった場合の電話なし率は 38.9%にとどまる一方、書類事前準備や公式情報の確認といった対策を行った場合は 88.5%に達します。利用者は事前対策を行うことで、電話連絡のリスクを大幅に軽減できることが示されました。

### 4. バレやすさは職場規模と相関

電話連絡があっても、職場で「明確にバレた」または「気づかれた様子があった」回答者はわずか 6 名でした。そのうち 5 名が 1~50 人規模の小規模職場で勤務しており、職場の規模がバレやすさと関連することが示唆されました。大規模職場では取次ぎが日常業務として処理されるため、個人名で名乗るカードローンオペレーターの電話が特定されにくい傾向があります。

### 5. 書類対応で最も多いのは健康保険証

書類による在籍確認で最も多く提出されたのは健康保険証(43 件)で、一般的に案内される社員証(6 件)を大きく上回りました。社会保険加入者にとって、健康保険証と給与明細を組み合わせた提出が最も実務的な在籍確認方法であることが明らかになりました。

## 調査概要

調査名	カードローンの在籍確認に関するアンケート調査
調査主体	SOICO 株式会社 編集部
調査期間	2026 年 4 月 23 日
調査対象	カードローン利用経験のある 20～60 代の男女
有効回答数	100 名
調査方法	クラウドソーシングサービス「クラウドワークス」(株式会社クラウドワークス運営)を通じたインターネットアンケート調査
調査項目	全 13 問(回答者属性、利用会社、選定理由、申込時の不安、在籍確認の実態、事前対策など)
集計方法	単一回答および複数回答の集計、自由回答の分類集計、クロス集計

## 調査結果の引用・転載について

本レポートに記載されている調査結果は、以下の条件のもとで自由に引用・転載いただけます。

- ✓ 引用元として「SOICO 株式会社調べ(2026 年 4 月)」と明記すること
- ✓ 可能な場合、本レポート PDF へのリンクを貼付すること
- ✓ 数値や内容を改変せずに引用すること
- ✓ 引用は一部抜粋可、全文転載の場合は事前にご連絡ください

### ■ 注意事項

本調査はクラウドソーシングを通じたインターネットアンケートであり、回答者の自己申告に基づいています。記憶に基づく回答を含むため、一部の数値について各社の公式データや実態と完全に一致しない可能性があります。カードローンの申込を検討する際は、必ず各カードローン会社の公式サイトにて最新情報をご確認ください。

## 執筆・監修者情報

執筆・監修	荒井 裕二(あらい ゆうじ)
肩書き	カードローン利用歴 10 年以上／実体験ベースのライター
利用歴	2011 年～(14 年以上)
契約実績	消費者金融・銀行系カードローン 6 社(レイク・アコム・プロミス・北海道銀行ラピッド・セブン銀行・ちばぎん)
信用情報開示経験	CIC・JICC・KSC 複数回
関連経験	フラット 35・銀行カードローン・クレジットカードのキャッシング枠の審査落ち経験あり

## お問い合わせ

発行元	SOICO 株式会社
コーポレートサイト	<a href="https://www.soico.jp/">https://www.soico.jp/</a>
お問い合わせフォーム	<a href="https://www.soico.jp/no1/contactform">https://www.soico.jp/no1/contactform</a>